

調布市における これからのみちづくり — 調布市道路網計画（案）— 参考資料

〈市民参加レポート〉



平成 27 年 12 月 調布市

目次

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 1 取組の概要 | 1-1 |
| (1) 目的 | |
| (2) 検討の流れと手法 | |
| (3) 取組の内容 | |
| (4) 意見の整理方法 | |
| 2 結果 | 2-1 |
| (1) 第1回みちの井戸端会議 | |
| (2) 第2回みちの井戸端会議 | |
| (3) 道路に関するアンケート（市民アンケート） | |
| (4) 道路ユーザーヒアリング | |
| (5) 第3回みちの井戸端会議 | |
| 3 道路網計画への反映 | 3-1 |
| (1) 第1回及び第2回みちの井戸端会議及び道路に関するアンケート | |
| (2) 道路ユーザーヒアリング | |
| (3) 第3回みちの井戸端会議 | |

参考資料

| | |
|------------------------------------|-------|
| 参考1 第1回みちの井戸端会議 詳細結果 | 参考1-1 |
| (1) 回答者の属性 | |
| (2) 普段利用している道路に関して困っていること（単純集計結果） | |
| (3) 普段利用している道路に関して困っていること（クロス集計結果） | |
| 参考2 第2回みちの井戸端会議 詳細結果 | 参考2-1 |
| (1) 回答者の属性 | |
| (2) 普段利用している道路に関して困っていること | |
| (3) その他の意見 | |
| 参考3 第3回みちの井戸端会議 詳細結果 | 参考3-1 |
| (1) 回答者の属性 | |
| 参考4 道路に関するアンケート調査 詳細結果 | 参考4-1 |
| (1) 回答者の属性 | |
| (2) 普段利用している道路に関して感じる事 | |
| (3) 道路の役割に対する満足度 | |
| (4) 道路整備に対する満足度 | |
| (5) その他の意見 | |
| 参考5 個別路線に関する意見（抜粋） | 参考5-1 |
| 参考6 意見の分類 | 参考6-1 |
| 参考7 調査票 | 参考7-1 |
| (1) 第1回みちの井戸端会議 | |
| (2) 第2回みちの井戸端会議 | |
| (3) 第3回みちの井戸端会議 | |
| (4) 道路に関するアンケート | |

1 取組の概要

(1) 目的

調布市では、都市計画道路と生活道路を体系的、機能的に連携した道路網として形成していくため、現在の都市計画道路と生活道路の計画を一体的に検討し、調布市を取り巻く状況等に対応した「調布市道路網計画」（以下「道路網計画」という。）を策定することとしました。

道路網計画は、道路の位置、幅員、優先的に整備する道路等を定める計画であり、市民の生活に直接的に影響を及ぼす場合があります。このため、計画の検討段階から、広く市民の皆さんと意見交換を行うため、複数の手法で市民参加を実施しました。

(2) 検討の流れと手法

道路網計画では、検討の各段階に応じて、複数の手法で市民参加を実施しています。市民参加には様々な手法がありますが、ここでは、職員が対面形式で直接市民の皆さんのご意見を聴く手法を活用しました。親しみやすい場をイメージして、愛称を「みちの井戸端会議」としています。

他には、調布市に住民登録をしている方から無作為に選んだ方をお願いする「道路に関するアンケート（市民アンケート）」等を行っています。

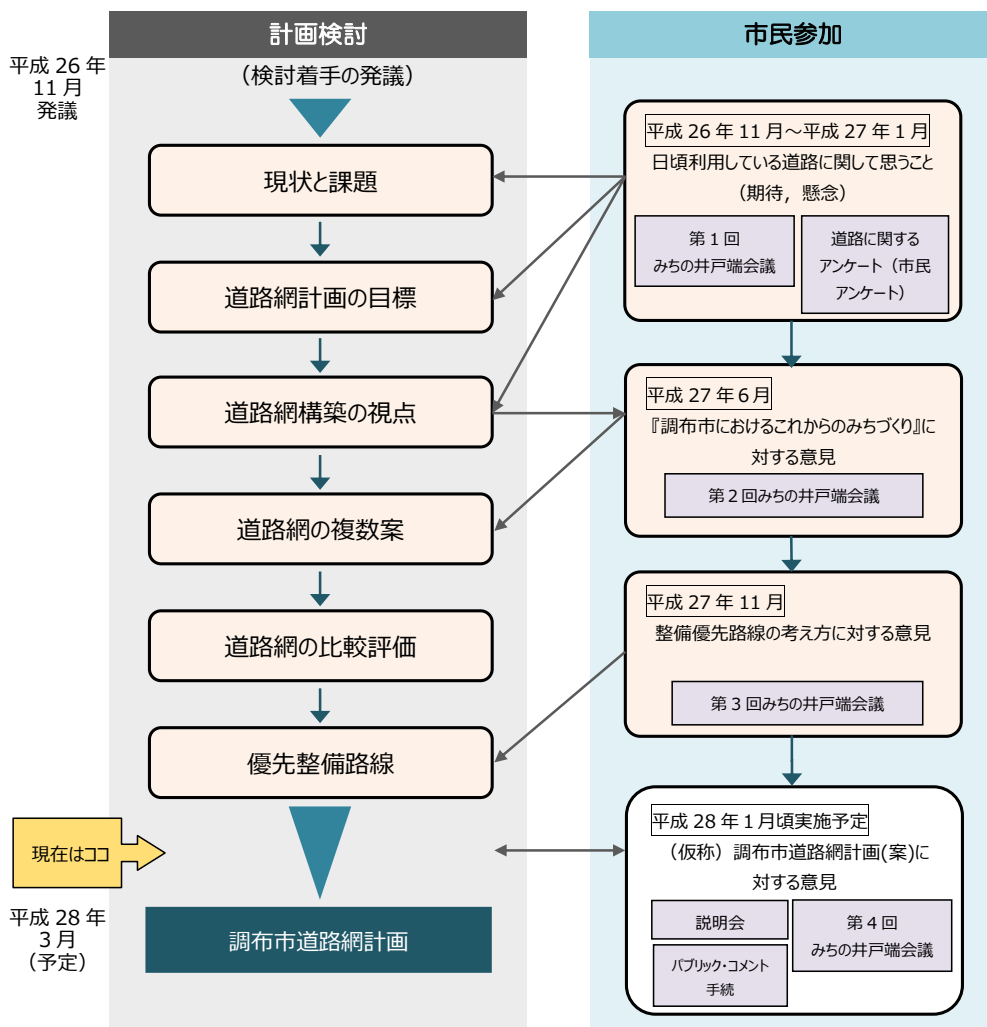


図 計画検討と市民参加の概要

(3) 取組の内容

・第1回みちの井戸端会議

第1回みちの井戸端会議は、日頃利用している道路に関して思うこと（期待、懸念）を把握し、その結果を道路網計画の目標や道路網構築の視点を検討する上で参考にするため、意見交換を実施しました。

駅前や、地域福祉センター及び商業施設で計22回行い、ブースを設けて、職員が対面形式で市民から意見を聴取しました。

○開催時期

- 平成26年11月～12月

○開催場所

- 京王線の各駅前、地域福祉センター、商業施設 計19箇所

○開催時間

- 午前9時30分～午後4時30分のうち6時間

○意見数

- 809件

○実施手法

- パネルを展示して、道路網計画の検討について情報提供
- 職員が、来場した市民や、周辺を通行している市民に声をかけ意見交換を実施

○周知手法

- 市報ちょうふ、ホームページに掲載
- 京王線の各駅、地域福祉センター、公民館及び図書館に、開催日程のチラシ及びポスターを掲示

表 第1回みちの井戸端会議（平成26年11月～12月）
日程と意見数

| 日付 | 会場 | 意見(件) |
|-------------|--------------|-------|
| 11月24日(月・祝) | イトーヨーカドー国領店 | 37 |
| 11月26日(水) | 調布ヶ丘地域福祉センター | 15 |
| | 緑ヶ丘地域福祉センター | 2 |
| 11月29日(土) | いなげや調布仙川店 | 39 |
| | トップ深大寺店 | 28 |
| 12月1日(月) | 仙川駅前 | 45 |
| 12月3日(水) | 国領駅前 | 47 |
| | 京王多摩川駅前 | 50 |
| 12月5日(金) | 富士見地域福祉センター | 19 |
| | 深大寺地域福祉センター | 14 |
| 12月6日(土) | オザム調布多摩川店 | 28 |
| | 仙川駅前 | 65 |
| 12月8日(月) | 入間地域福祉センター | 16 |
| | 西調布駅前 | 54 |
| 12月11日(木) | 調布駅前 | 34 |
| | 染地地域福祉センター | 22 |
| 12月14日(日) | 調布駅前 | 75 |
| | つつじヶ丘駅前 | 60 |
| 12月16日(火) | 飛田給駅前 | 34 |
| | つつじヶ丘駅前 | 37 |
| 12月18日(木) | 柴崎駅前 | 65 |
| | 布田駅前 | 23 |
| 合計(件) | | 809 |



写真 いなげや調布仙川店

・第2回みちの井戸端会議

第2回みちの井戸端会議では、これまでの検討概要をまとめた「調布市におけるこれからのみちづくり」の内容について意見交換を実施しました。

駅前広場や、地域福祉センターの計15箇所で、ブースを設けて、職員が対面形式で市民から意見を聴取しました。

○開催時期

- 平成27年6月

○開催場所

- 京王線の各駅前、地域福祉センター 計15箇所

○開催時間

- 午前9時～正午
もしくは午後2時～5時の4時間

○意見数

- 263件

○実施手法

- パネルを展示して、道路網計画の検討について情報提供
- 職員が、来場した市民や周辺を通行している市民に声をかけ意見交換を実施

○周知手法

- 市報ちょうふ、ホームページに開催日程の掲載
- 京王線の各駅、地域福祉センター、公民館及び図書館に、開催日程のチラシ及びポスターを掲示

表 第2回みちの井戸端会議(平成27年6月)の日程と意見数

| 日付 | 会場 | 意見(件) |
|----------|--------------|-------|
| 6月10日(水) | 緑ヶ丘地域福祉センター | 4 |
| 6月11日(木) | 布田駅前 | 36 |
| 6月12日(金) | 調布ヶ丘地域福祉センター | 6 |
| 6月14日(日) | 調布駅前 | 30 |
| 6月15日(月) | 国領駅前 | 32 |
| 6月16日(水) | 富士見地域福祉センター | 5 |
| | 柴崎駅前 | 31 |
| 6月18日(木) | 入間地域福祉センター | 6 |
| 6月19日(金) | 京王多摩川駅前 | 10 |
| 6月20日(土) | つつじヶ丘駅前 | 25 |
| 6月23日(火) | 深大寺地域福祉センター | 8 |
| 6月24日(水) | 西調布駅前 | 20 |
| 6月25日(木) | 染地地域福祉センター | 7 |
| 6月26日(金) | 仙川駅前 | 27 |
| 6月27日(土) | 飛田給駅前 | 16 |
| 合計(件) | | 263 |



調布市におけるこれからのみちづくり
～(仮称)調布市道路網計画について～
(平成27年6月)



写真 布田駅前

・第3回みちの井戸端会議

前半で、道路網計画の検討概要や優先的に整備すべき路線等の選定の考え方について、調布市から説明し、後半で、優先的に整備すべき路線等の選定の考え方について意見交換を実施しました。

市内4箇所の地域福祉センターと文化会館たづくりの計5箇所で実施しました。

○開催時期

- 平成27年11月

○開催場所

- 地域福祉センター及び文化会館たづくり 計5箇所

○開催時間

- 地域福祉センター
午後7時～8時30分
- 文化会館たづくり大会議場
午後2時～3時30分

○意見数

- 64件

○実施手法

- これまでの検討概要や、優先的に整備すべき路線等の考え方について、プロジェクターを用いて調布市から説明
- 調布市から説明を行った後、職員と市民が個別に意見交換を実施
- 市民にはアンケート形式で意見を自由に記載していただいた

○周知手法

- 市報ちょうふ、ホームページに開催日程の掲載
- 京王線の各駅、地域福祉センター、公民館及び図書館に開催日程のチラシ及びポスターの掲示
- 自治会、地区協議会、街づくり協議会及び商工会に開催案内を送付
- 無作為に抽出した約1,000人の市民に開催案内を送付

表 第3回みちの井戸端会議(平成27年11月)の日程と意見数

| 日付 | 会場 | 意見(件) |
|-----------|-------------|-------|
| 11月4日(水) | 富士見地域福祉センター | 13 |
| 11月6日(金) | 染地地域福祉センター | 9 |
| 11月10日(火) | 深大寺地域福祉センター | 8 |
| 11月12日(木) | 入間地域福祉センター | 8 |
| 11月14日(土) | 文化会館たづくり | 26 |
| - | 窓口提出 | 1 |
| 合計(件) | | 65 |



写真 富士見地域福祉センター



写真 文化会館たづくり12階大会議場

・道路に関するアンケート（市民アンケート）調査

調布市が毎年行っている市民意識調査の結果で、「道路整備」に対する問題意識が非常に高いことから、その問題点が何かを把握することを目的に実施しました。アンケートでは、第1回みちの井戸端会議と同様に、日頃利用している道路に関して思うこと（期待、懸念）などを調査し、「道路環境」の観点から何が問題なのかを把握しました。

調査結果は、道路網計画の目標や道路網構築の視点を検討する上で参考にしました。

○調査対象

- 市民意識調査と同様に、調布市に住民登録をしている満16歳以上の方から無作為抽出で選んだ約3,000人（性、年齢、居住地域が偏らないように考慮）

○実施時期

- 平成26年12月12日（金）～平成27年1月7日（水）

○方法

- 郵送で配布及び回収

○設問構成

- 属性（性別、年齢構成、居住地等）
- 行動特性（目的に応じた交通手段等）→これを属性情報の一つとして加味
- 「道路環境」に対する満足度（4段階評価）
- 「道路環境」の問題点や懸念、期待（選択肢）

○発送数

- 3,067通

○回収数

- 1,714通

○回収率

- 55,9%

・道路ユーザーヒアリング

道路利用者の視点から、ニーズ、道路等の利用特性、個別路線の問題点等を聴き、道路に期待される機能の漏れはないか、道路網の検討や優先整備路線の選定の参考とすることを目的に実施しました。

○対象団体

- 道路利用者としての意識が高く、かつ活動が活発な組織・団体を選定

○実施時期

- 平成27年5月～6月

○ヒアリングの対象とする組織・団体

- 交通（利便性）：バス、タクシー
- 防災：消防署、警察署
- 地域の活性化：商工会、トラック協会
- 高齢者や子どもの安全：社会福祉協議会、PTA 等

○主なヒアリング事項

- 利用者ニーズ
- 道路等の利用特性
- 個別路線の問題点

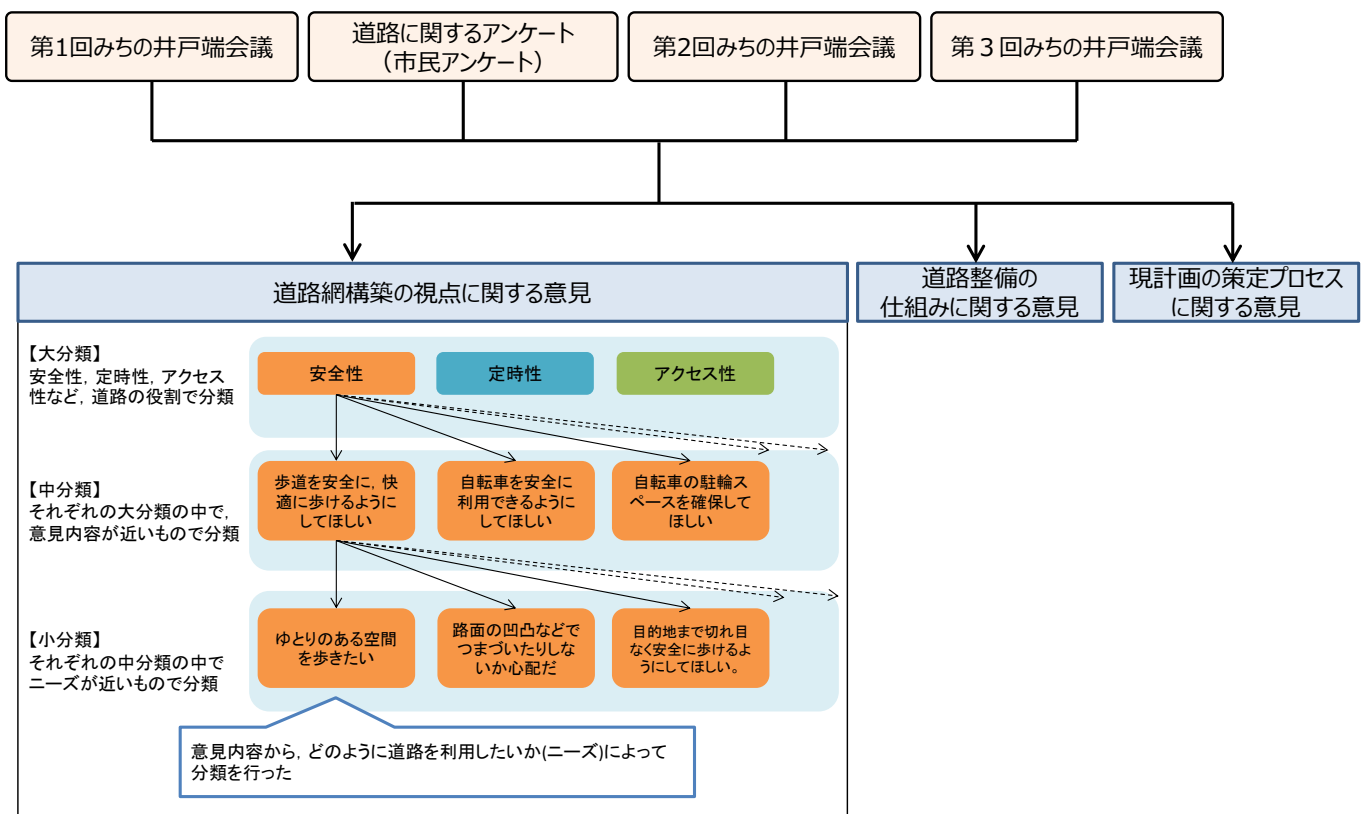
表 道路ユーザーヒアリングの対象団体

| 部門 | ヒアリング団体 |
|--------|--------------------|
| 交通 | 小田急バス(株) |
| | 京王バス(株) |
| | タクシー協議会(京王タクシー(株)) |
| 防災 | 調布消防署 |
| | 調布警察署 |
| | 調布市交通安全協会 |
| 物流(産業) | 調布市商工会 |
| | 調布郵便局 |
| | 東京都トラック協会(多摩支部) |
| 福祉, 高齢 | 調布市社会福祉協議会 |
| 子ども | 調布市私立幼稚園PTA連合会 |
| | 調布市公立学校PTA連合会 |

(4) 意見の整理方法

いただいた意見のうち、道路に求められる期待やニーズに関する意見を「道路網構築の視点に関する意見」、これからの道路計画の進め方や効率的な道路整備等に関する意見を「道路整備の仕組みに関する意見」、現在の道路網計画検討のプロセスに関する意見を「現計画の策定プロセスに関する意見」に分類しました。また、「道路網構築の視点に関する意見」は、大分類を道路に求められる役割である安全性、定時性、アクセス性、代替性、防災性、住環境に分類し、どれにもあてはまらない意見は、その他としました。さらに、意見内容が近いものを中分類とし、中分類の中でニーズが近いものを小分類としました。これにより、市民が道路に期待している役割は何か、どのように道路を利用したいのかがわかるように整理しています。詳細は、参考6 意見の分類 をご覧ください。

なお、それぞれ分類した意見は、回答者の属性ごとに分析をしました（クロス集計）。



2 結果

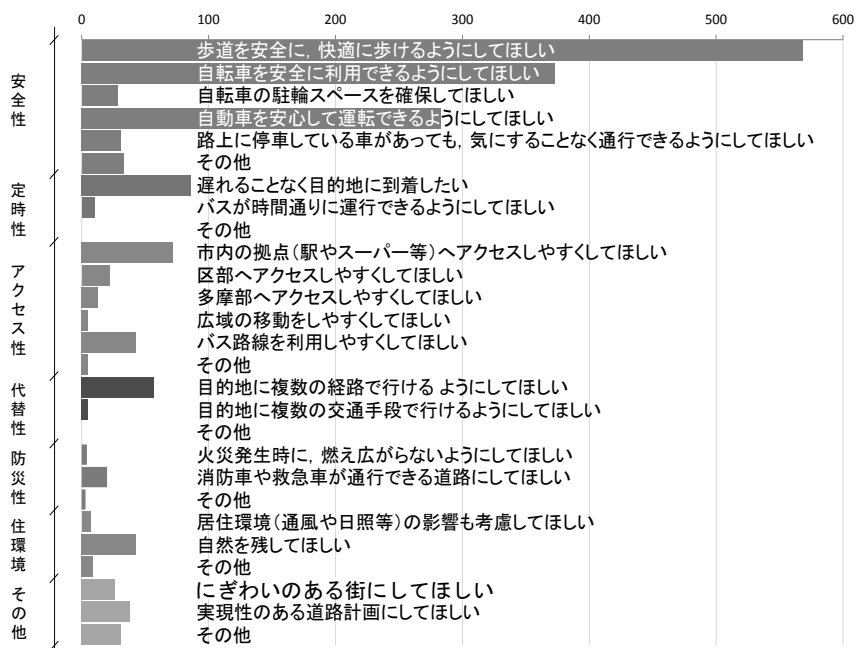
道路網計画の検討過程で実施した市民参加について、それぞれの結果をまとめました。

第1回及び第2回みちの井戸端会議並びに道路に関するアンケート調査は、結果を抜粋して掲載しています。こちらの詳細な結果は、参考1～3をご覧ください。

(1) 第1回みちの井戸端会議

・単純集計

道路で、何か気になることや困っている点はありませんか、という問いに対して、安全性を求める声が多く、「歩道を安全に、快適に歩けるようにしてほしい」という声や、自転車や自動車が安全に通行できるようにとの意見が多く寄せられました。

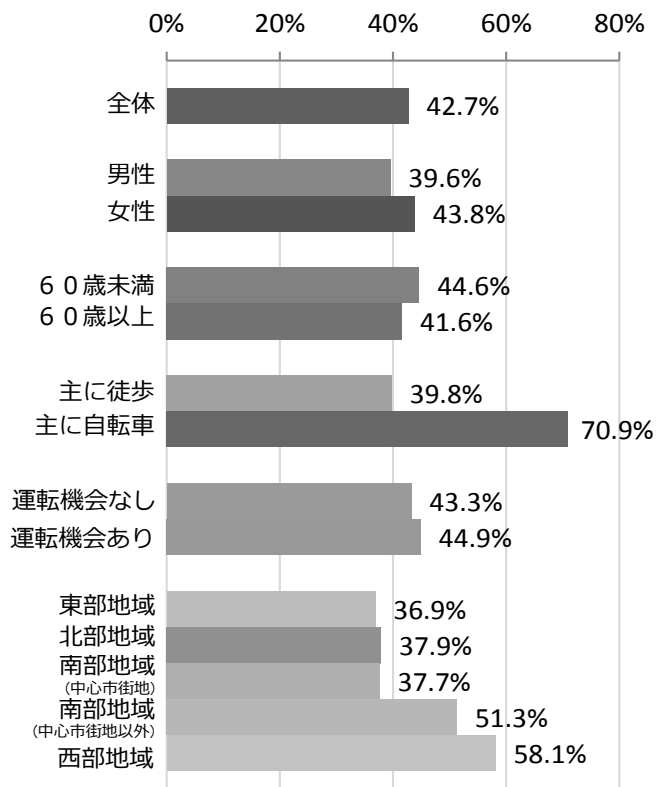


・自転車を安全に利用できるようにしてほしい (クロス集計)

右表は「自転車を安全に利用できるようにしてほしい」という意見のクロス集計結果です。

主に自転車を利用する人から、意見が寄せられました。また、すべての地域で、3割以上の人から「自転車を安全に利用できるようにしてほしい」という意見をいただきました。

これらから、歩行者、自転車利用者がそれぞれ安全に安心して利用できる道路整備が求められていることがわかります。調布市では、区部及び多摩部よりも自転車利用者が多いことから、自転車が安全に通行できる環境の整備が重要であるといえます。



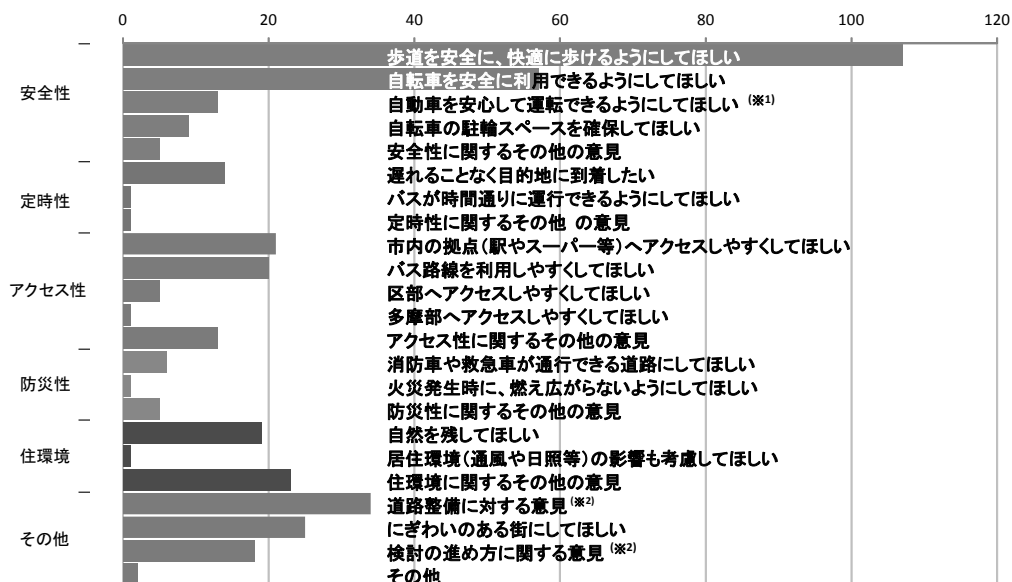
(2) 第2回みちの井戸端会議

・単純集計

第1回と同様に「歩道を安全に快適に歩けるようにしてほしい」という意見が多く寄せられました。

アクセス性では「市内の拠点（駅やスーパー等）へアクセスしやすくしてほしい」や「バス路線を利用しやすくしてほしい」という意見がありました。

また、第1回目の集計結果と比較して、道路整備に対する意見が多くなりました。



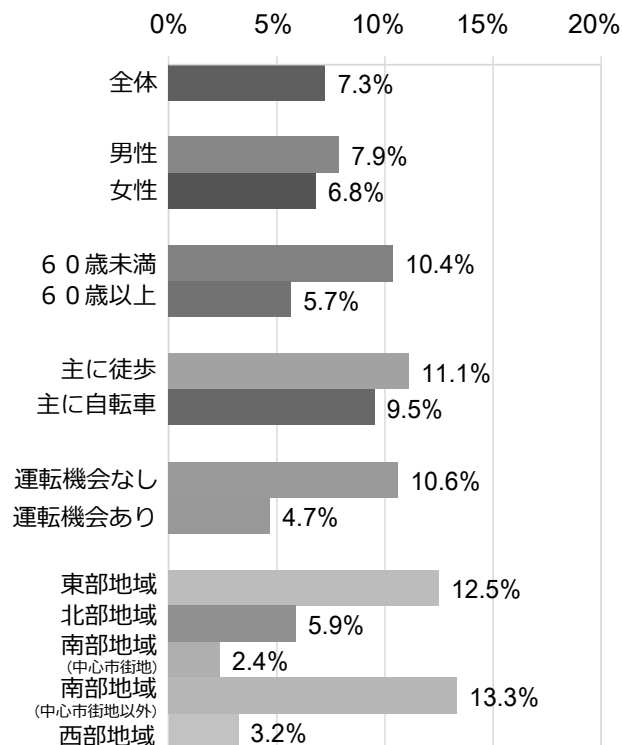
(※1) 「第1回みちの井戸端会議」への意見整理から、文言を修正した項目
(※2) 今回新たに追加した項目

・バス路線を利用しやすくしてほしい (クロス集計)

右表は「バス路線を利用しやすくしてほしい」という意見のクロス集計結果です。

回答者は、60歳未満の人が多いことがわかりました。また、地域別では、東部地域と、中心市街地以外の南部地域が突出して多くなりました。

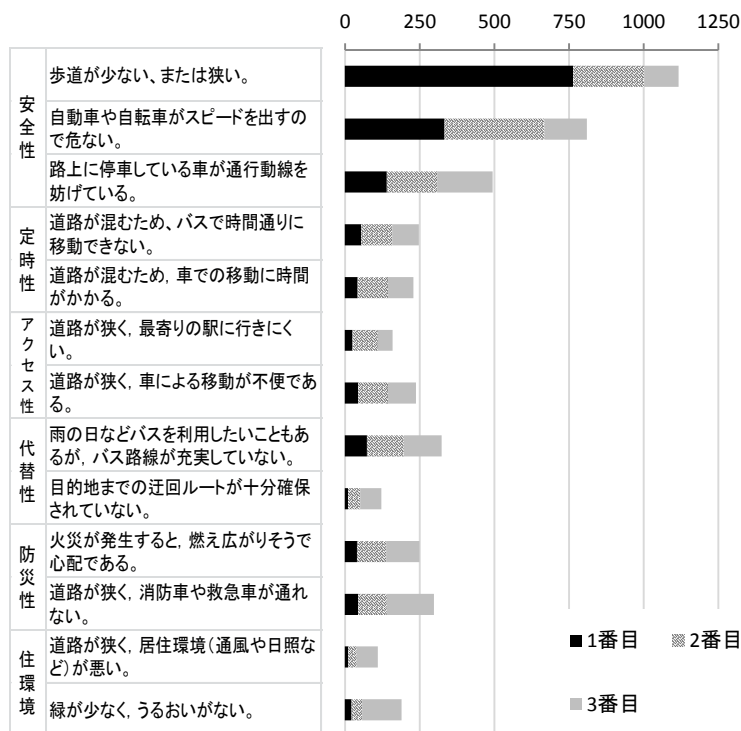
調布市では、鉄道駅から比較的離れた地域では、公共のバス交通が市民生活を支えています。単純集計結果で「市内の拠点（駅やスーパー等）へアクセスしやすくしてほしい」という意見が多く寄せられていることから、現在バス路線がない地域を中心に、駅や施設をつなぐバス路線の充実が求められています。同時に、今あるバス路線をよりわかりやすく、利用しやすくすることも必要です。



(3) 道路に関するアンケート調査

・問2-2 下の表から特に困っている事項を3つまで選んで順位をつけてください。

みちの井戸端会議の意見聴取結果と同様に、安全性に関する意見が多く寄せられました。特に、「歩道が少ない、または狭い」、「自動車や自転車がスピードを出すので危険」、「歩道が少ない、または狭い」、「自動車や自転車がスピードを出すので危険」といった意見が大半を占めました。また、バス路線の充実や、防災性に関する意見も寄せられました。

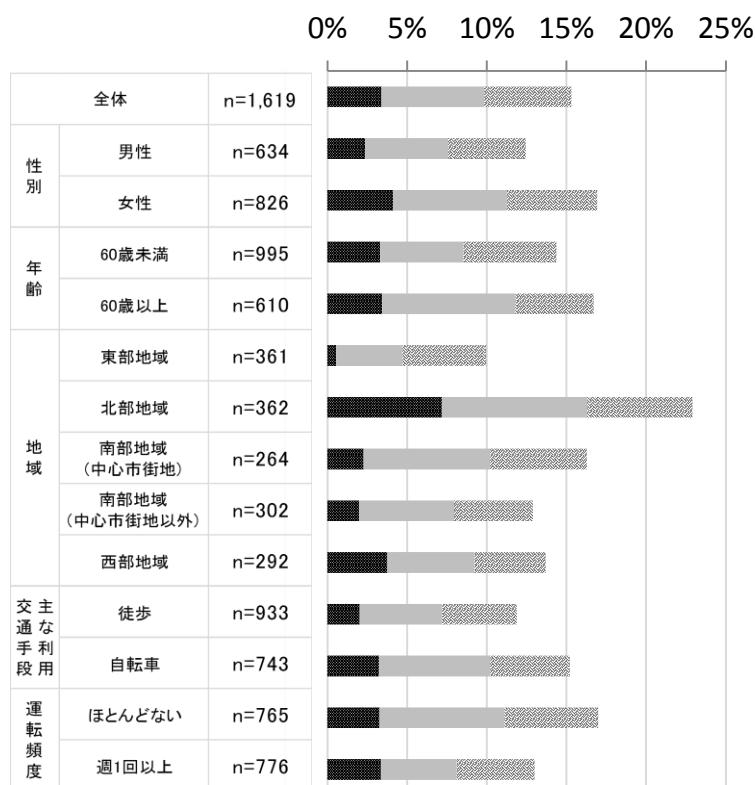


・道路が混むため、バスで時間通りに移動できない(クロス集計)

右表は「バスで時間通りに移動できない」という意見のクロス集計結果です。

地域別では、北部地域で突出して多くなりました。また、北部地域の次に南部地域(中心市街地)が多いことがわかりました。

この結果から、特に北部地域や南部地域(中心市街地)では、公共バス交通が時間どおりに移動できるような道路の整備が求められています。



・問4-1 これからの道路計画で配慮すべき事項の重要度

・問4-2 これからの道路計画で配慮すべき事項で、特に重要だと思う事項

問4-1では、調布市が「これからの道路計画で配慮すべきもの」として重要と考える「高齢社会への対応」、「環境負荷への配慮」、「防災・減災への対応」、「周辺の街づくりとの連携」、「市民参加の機会の確保」、「選択と集中による効果的な取組」、「その他」の6つについて、どの程度重要だと思うのか回答をいただきました。

また問4-2では、調布市が「これからの道路計画で配慮すべきもの」として重要と考える上記の6つについて、特に重要だと思う事項を1番目～3番目まで回答していただきました。

| | 重要度 | | | | 特に重要だと思う事項 | | |
|----------------|-------|---------|----------|-------|------------|-----|-----|
| | 重要である | やや重要である | あまり重要でない | 重要でない | 1番目 | 2番目 | 3番目 |
| 高齢社会への対応 | 1155 | 426 | 52 | 14 | 743 | 295 | 198 |
| 環境負荷への配慮 | 731 | 732 | 151 | 21 | 118 | 292 | 259 |
| 防災・減災への対応 | 973 | 578 | 78 | 15 | 270 | 428 | 264 |
| 周辺の街づくりとの連携 | 732 | 676 | 199 | 31 | 148 | 215 | 230 |
| 市民参加の機会の確保 | 644 | 695 | 265 | 39 | 58 | 131 | 174 |
| 選択と集中による効果的な取組 | 958 | 567 | 86 | 21 | 155 | 159 | 325 |
| その他 | 235 | 33 | 0 | 3 | 84 | 34 | 49 |

道路計画で配慮すべき事項として、すべての項目で「重要である」、「やや重要である」の回答が8割以上となりました。重要度では、「高齢社会への対応」、「防災・減災への対応」、「選択と集中による効果的な取組」が多く挙げられました。

特に重要だと思う事項の1番目に選ばれた項目は「高齢社会への対応」でした。また、2番目に選ばれた項目は「防災・減災への対応」、3番目に選ばれた項目は「選択と集中による効果的な取組」でした。

このことから、これからの道路計画に求められることとして、高齢者が安心して外出できるような安全な移動空間の確保、災害に強い道路整備、市の財政状況を考慮した効率的かつ効果的な道路整備が求められているといえます。

(4) 道路ユーザーヒアリング

道路ユーザーヒアリングでは、主に、「利用者ニーズ」、「道路等の利用特性」、「個別路線に対する意見」について、意見聴取をしました。

・利用者ニーズ

道路ユーザーヒアリングによる利用者ニーズを見ると、全ての意見が、当初設定した道路網構築の視点に該当することが確認できました。

| 目標区分 | 道路網構築の視点 | 利用者ニーズ | 意見団体 |
|--|-----------------|--|----------|
| 快適・便利・安全 | 道路混雑の解消 | ・幹線道路の混雑を解消してほしい。 | ・タクシー協議会 |
| | 安全で快適な移動 | ・歩行者・自転車の飛び出しが危険なため、歩道を整備してほしい。 | ・タクシー協議会 |
| | | ・通学路は重点的に整備した方がよい。 | ・調布警察署 |
| | | ・迂回による集配時のタイムロスが発生してしまうので、一方通行を減らしてほしい。 | ・調布郵便局 |
| | | ・障害者は遠回りになっても安全な道(広幅員の歩道、交通量が少ない等)を通行する。 ・市役所や病院への安全性やアクセス性の向上が重要 ・障害者はバスを頻繁に利用するため、バス待ち環境やバス停から目的地までの安全性の確保が重要 ・障害者は市役所や出張所に行く機会が多いため、市役所周辺における良好な歩行環境の確保が必要 | ・社会福祉協議会 |
| ・(子どもが安全に通行するため)車道におけるカラー舗装等による自転車の通行区分を明示してほしい。 ・危険な道におけるハンプ等の設置による自動車の減速対策を実施してほしい。 ・子どもには左側を通行するよう言っているため、片側歩道は危険 | ・私立幼稚園 PTA連合 | | |
| ・片側歩道でもあった方がよく、十分な歩道幅員の確保が必要 ・通学路において歩道がない場合、カラー舗装等の対応を検討してほしい。 | ・公立学校PTA 連合 | | |

・道路等の利用特性

道路等の利用特性から道路網計画の検討の参考となる意見を、下表で整理しました。

| 目標区分 | 道路網構築の視点 | 道路網の抽出条件に関する参考意見 | 意見団体 |
|----------|-------------------------------|--|---------------|
| 防災・減災 | 火災時の延焼を防ぐ道路網の構築(広域道路網) | ●消防活動 ・災害時は、センターラインが引かれ、ガードレールが設置されている道路を利用する。 ・消火活動は、消火栓から直線で220m必要 | 調布消防署 |
| 快適・便利・安全 | 救急搬送を支える道路網の構築(広域道路網) | ●救急車の主な搬送先 【調布市】調布病院, 東山病院, 慈恵第三病院(調布市, 狛江市) 【府中市】榊原記念病院, 府中恵仁会病院, 多摩総合医療センター 【三鷹市】杏林大学病院 【武蔵野市】武蔵野赤十字病院 【世田谷区】至誠会第二病院, 日産厚生会玉川病院, 世田谷下田総合病院 ※下線: 第三次救急医療機関 ●救急車が利用する道路条件 ・搬送時は、幹線道路を利用する。 ・通行ルートは患者を考慮し、曲がる回数が少なく、基盤目状に整備された道路を利用する。 | 調布消防署 |
| | 鉄道駅へのアクセス性向上に資する道路網の構築(広域道路網) | ●バス路線の抽出条件(小田急バスの場合) ・調布3・4・18号線が整備されたら、三鷹駅から国領駅までバス路線を延長を検討したい。 ・仙川駅とバス停「仙川」のアクセス性が悪いので、仙川駅から北方面へのバス路線の設置を検討したい。 (京王バスの場合) ・都市計画道路が事業化されるまで、新規バス路線の検討はしない。 | 小田急バス 京王バス |
| 環境・住環境 | 都市の低炭素化を促進する道路網の構築(広域道路網) | ●トラックが利用する主な道路 ・市内の東西の動線は、東八道路, 甲州街道(南側は川崎街道)がメインとなる。 ・調布一八王子間の移動の場合、中央自動車道は利用せず、一般道を利用する。 | トラック協会 |

・個別路線に対する意見

個別路線について、優先整備路線の選定の参考となる意見を、下表で整理しました。

■ 個別路線に対する意見（路線）

| 区分 | 名称等 | 問題点とその状況 | 意見団体 |
|----|-----------------------|---|--|
| 路線 | 都道118号線 | ・電柱があるため、対向車とのすれ違い時に安全面が不安 ・桐朋学園付近のバス通りは、交通量は多いが、幅員が狭く歩道もなく危険 ・キュービー前が拡幅整備されたため、自転車が猛スピードで通行し危険 | ・小田急バス ・調布警察署 ・交通安全協会 ・社会福祉協議会 ・私立幼稚園PTA連合 |
| | 甲州街道 | ・道路幅員が狭すぎる。歩道も植栽や歩道橋があるため狭くなっている。 | ・調布警察署 |
| | 佐須街道 | ・柴崎駅までの道路を整備してほしい。北部地域の運送業社の共通の認識 | ・トラック協会 |
| | 三鷹通り | ・概成区間は歩道が狭いため、歩行者・自転車が危険 ・オリンピック保育園から東南方向斜めに甲州街道へ繋がる道については、拡幅すると車がスピードを出すため、事故の増加が懸念される。 | ・タクシー協議会 ・調布消防署 |
| | 品川通り | ・国領小学校前は、通学時間帯に車も歩行者も多い。 | ・交通安全協会 |
| | 旧甲州街道 | ・調布駅付近は歩道が狭く、歩行者・自転車の安全性が確保されていない。 | ・京王バス ・調布警察署 |
| | 原山通り | ・一方通行区間があるため、バス交通が悪い。 | ・京王バス |
| | 神代植物公園通り | ・交通量が多いが道路幅員が狭いため、バス待ち環境が悪い。 | ・京王バス |
| | 調布3・4・10号線 (未整備区間) | ・当該地域の生活道路が抜け道になって危険なため、頑張って整備してほしい。 | ・私立幼稚園PTA連合 |
| | 調布3・4・26号線 | ・布田駅から甲州街道の区間は歩道が狭すぎる。 | ・社会福祉協議会 |
| | 調布7・5・1号線 | ・京王線から旧甲州街道の区間は、再開発に伴い道路整備を行っているが、両側とも歩道が狭いので危ない。 | ・社会福祉協議会 |
| | 市道南27号線 (区画街路2号) | ・歩道はあるものの南側の歩道が狭い。一方通行のため電動車イスが一方通行を逆走せざるを得ないこともあり危険 | ・社会福祉協議会 |

■ 個別路線に対する意見（交差点）

| 区分 | 名称等 | 問題点とその状況 | 意見団体 |
|-----|----------------------------|---------------------------------------|-----------------|
| 交差点 | バス停「仙川駅入口」付近 | ・交差点が鋭角で、電柱もあることから、大型車とのすれ違いができず渋滞する。 | ・小田急バス |
| | 甲州街道と調布3・4・26号線交差点 | ・調布3・4・26号線側に右折レーンがないので渋滞する。 | ・タクシー協議会 |
| | バス停「国領8丁目」付近 | ・慢性的に渋滞する。 | ・小田急バス ・京王バス |
| | バス停「慈恵第三病院前」付近 | ・慢性的に渋滞する。 | ・京王バス |
| | 武蔵境通りの御塔坂付近 | ・渋滞する。 | ・トラック協会 |
| | 下石原交番前(調布3・2・6号線と甲州街道の交差点) | ・渋滞する。 | ・トラック協会 |
| | 武蔵境通りの神代植物公園付近 | ・信号が20秒くらいで赤になり短い。 | ・トラック協会 |
| | 三鷹通りの深大寺交差点付近 | ・歩道が狭いと要望が多い。 | ・調布警察署 |

(5) 第3回みちの井戸端会議

第3回のみちの井戸端会議でいただいた意見は、「優先整備路線の考え方に対する意見」、「道路整備の仕組みに関する意見」、「現計画の策定プロセスに関する意見」に分類しました。これらの意見について、調布市道路網計画（案）における考え方や対応を示しました。

注) いただいた意見は原則として、原文のまま掲載しています。ただし、個人名等プライバシーに関する記述がある場合は、該当部分を省略している場合があります。

優先整備路線の考え方に関する意見（104件）

| 意見の概要 | 意見への考え方・対応 |
|--|--|
| ○考え方全般について | |
| ・優先整備路線選定の考え方については今回の内容でよいと思う。 | |
| ・地区内道路網の優先整備路線の考え方の例示について、内容はもっともだと思うが、もう少し深い検討が必要ではないか。 | 地区内道路網の整備優先度の考え方に基づき、「優先整備路線」を選定します。 また、部分的に課題を解決する必要がある箇所を「機能確保のための総合的な取組」と位置付け、道路空間の確保だけでなく、局所的改良や交通安全の視点を含む取組を検討します。 |
| ・大気汚染などの負の側面の評価が入っていないのではないか。 | 道路網計画の目標の1つに「低炭素なまち、生活環境に配慮した住みやすいまちの形成」を掲げ、道路整備によるCO2排出量の分析に基づき、低炭素なまちの形成を評価しています。 |
| ○広域道路網（案）における整備優先度の考え方について | |
| ・武蔵境通りの御塔坂より南が、現在片側一車線で渋滞しており、そこから流れてくる車が、石原小学校の前など狭い道でスピードを出し、事故の心配がある。最優先で拡幅してほしい。 | 「円滑な道路ネットワークの構築」に基づき、路線を選定します。 (道路網計画（案）P22参照) |
| ・生活道路に入り込まない道路づくり、歩道の拡幅、自転車と歩行者との分離した道路づくり、電柱などが無い道路づくり、バリアフリーを重視した道路づくり、警察とタイアップした道路づくりなどをぜひ実践してほしい。今はほとんど考慮されていないのではないか。 | |
| ・中央道高井戸下りIC、東八IC、東八道路全開通などが影響しない場所からやるのが良いのではないか。例えば、東八全通で20号の渋滞はほぼ消えるのではないか。 | 「関連する都市基盤整備事業との連携」に基づき路線を選定します。 (道路網計画（案）P22参照) |

| 意見の概要 | 意見への考え方・対応 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い都市基盤の整備が最優先だと思う。今年も調布市では大きな地震が少なからず発生しており、いつ首都直下など大災害が起きるかは分からない。災害時の被害を少しでも小さくするため、早く取り組むべきだ。 | <p>評価項目3「災害に強い都市基盤の整備」に基づき、路線を選定します。 (道路網計画(案)P22参照)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・深大寺北町、元町地域を横断するバス交通網のための道路整備をしてほしい。北町、元町は地域内の交通がないため、地域内に公共施設があっても徒歩では遠くて利用できない。 | <p>「快適でより便利なまちの形成」に基づき、路線を選定します。 (道路網計画(案)P22参照)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・道路の段差を出来るだけフラットにして、安心して歩けるようにしてほしい。 | <p>「交通バリアフリーの推進」に基づき、高齢者や身体障害者等の移動の円滑化や安全性の向上を図るため、駅周辺のバリアフリー化を推進する路線を選定します。 (道路網計画(案)P22参照)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・2020年オリンピックの開催も踏まえて、地域特性を活かした都市空間の形成を優先すべきだ。観光客が多く来るので、調布市の魅力を知ってもらえるような道を整備すべきだ。 | <p>「地域特性を活かした都市空間の形成」に基づき、深大寺地区などの観光拠点へのアクセス向上や駅周辺のまちづくりに資する路線を選定します。 (道路網計画(案)P22参照)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・神代植物公園通りは、歩道がなくて危ない。安全に通れるように拡幅してほしい。 | <p>広域道路(調布3・4・9, 調布3・4・14号線)と合わせて今後検討をしていく路線としています。 (道路網計画(案)P28参照)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校まわりの通学路を、歩行者、人間中心に考え優先的に整備をしてほしい。弱者(子供, 老人)が歩いていても不安の無いようにしてほしい。 ・市内全域的に道路でスピードが出せないような工夫ができないか。 | <p>地区内道路網計画で、道路空間の確保だけでなく、局所的改良や交通安全の視点を含む「機能確保のための総合的な取組」として、小学校の周辺を位置づけています。 (道路網計画(案)P26及び28参照)</p> |
| ○その他の意見 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・都道を幹線道路、市道を日常に密着した生活道路と考えると、これらの連がりも大事ではないか。ハード整備による車さばきだけでなく、人、自転車にも考慮してほしい。 | <p>みちの井戸端会議や道路に関するアンケートでも「自転車を安全に利用できるようにしてほしい」という意見を多くいただいています。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・高齢の歩行者と自転車のトラブルが最近は多いと感じる。ドライバーは歩行者に対する意識は高いが、自転車はモラルが低く、あるときは車両、あるときは歩行者と、都合の良いように走っている。歩行者、自転車、自動車が分離して走れる道づくりを、幹線道路・生活道路双方でしてほしい。 | <p>今後自転車の日常的な移動の安全性及び利便性向上を図るため、利用実態に合わせた市内の安全な自転車利用の環境づくりについて検討を進めていきます。 (道路網計画(案)P31参照)</p> |

道路整備の仕組みに関する意見（13件）

| 意見の概要 | 意見への考え方・対応 |
|---|---|
| ●計画・整備・維持管理について | |
| ○道路網計画について | |
| <p>いらぬ道路の検証をまずやってほしい。その過程を公表してほしい。整備率ばかり追いかけているのはおかしいのではないかと。</p> | <p>道路網計画(案)では、目指すべき道路網(案)を構築し、必要な道路を確認しました。また、道路網構築の視点に該当しない路線について、広域道路網計画では「廃止候補路線」、地区内道路網計画では、「計画の位置付けを廃止する路線」としました。</p> <p>(道路網計画(案) P 1 2 参照)</p> |
| <p>時代が変わっているため、新たに優先する道路を決めることが必要。有効なお金の使い方の為。</p> | <p>道路網計画(案)では、目指すべき道路網(案)を構築し、必要な道路を確認した後、整備優先度の考え方をまとめ、優先整備路線等を定めました。</p> <p>(道路網計画(案) P 2 1 参照)</p> |
| ○道路整備について | |
| <p>拡巾しなくても、ちょっと直して改良できる道の整備は地域に多くある。</p> | <p>地区内道路網計画では、道路の部分的な拡幅や交通規制の変更、既存道路の有効活用等により、地区の課題解決に役立つ生活道路整備の取組として「機能確保のための総合的な取組」を位置付けました。</p> <p>(道路網計画(案) P 2 6 参照)</p> |
| ○市民参加について | |
| <p>道路の計画策定後の周知をしっかりとしてほしい。周知が十分なされていない。電子でのPRを！</p> | <p>計画の策定後についても、市民への情報提供等の周知に努めます。</p> |
| <p>根本的な話しを進め方。行政の計画方針の転換を住民にはっきり示さなければ住民は信用しない。住民には利害者が居り、情報の無い事が一番の不信となる。</p> | |
| <p>生活拠点によって多様な意見があると思いますが、普段の市民の考えを吸収する意味でも常設の「協同安全安心、便利な街づくり」研究会を市民参加でつくって欲しい。1回や2回の集会で意見を述べられることは少ない。市民側での普及上でも必要な制度と考える。</p> | |

(注) 意見への考え方・対応欄では、今回お示した「調布市のこれからのみちづくりー調布市道路網計画(案)ー」の名称を、「道路網計画(案)」に省略しています。

現計画の策定プロセスに関する意見（17件）

| ○計画について | |
|---|---|
| 地域に合わせた形で具体的に道路を示してもらい今回説明して頂いた機能を示してもらえれば分かり易った。抽象的にわかりずらかった。 | 道路網計画（案）で、目指すべき道路網（案）や、優先整備路線等を、具体的に決めました。 |
| ○市民意見の把握について | |
| 検討結果についてパブリックコメントを受付けるような仕組みがよいと思います。 | 検討結果を道路網計画（案）として取りまとめました。本案についてパブリックコメント手続を実施し、皆さんからの意見を募集します。 |
| 今後は地区における具体的な内容についての懇談会の方が興味を持つ人も多く、多勢の方が集参するのでは！人の集まりが少ない。意見が限定されてしまう。 | <p>道路網計画（案）について、下記の日時で説明会及びみちの井戸端会議を開催します。道路網計画（案）の内容について、スライドやパネルを用いて説明します。詳細は、お知らせのチラシをご覧ください。</p> <p>【説明会】（注）2回とも同じ内容です。</p> <p>日時：</p> <p>1回目 平成28年1月15日（金） 午後7：00～8：30</p> <p>2回目 平成28年1月16日（土） 午後2：00～3：30</p> <p>場所：文化会館たづくり8階 映像シアター</p> <p>【みちの井戸端会議（パネル展示のみ）】</p> <p>日程・場所：</p> <p>（1）平成28年1月18日（月） 富士見地域福祉センター（西部）</p> <p>（2）平成28年1月19日（火） 染地地域福祉センター（南部）</p> <p>（3）平成28年1月21日（木） 深大寺地域福祉センター（北部）</p> <p>（4）平成28年1月22日（金） 入間地域福祉センター（東部）</p> <p>（5）平成28年1月24日（日） 教育会館（中心市街地）</p> <p>時間：午後3：00～8：00（5日間共通） ※この時間帯のうち、ご都合の良い時間にお越しください（退室も自由です）。</p> |

（注）意見への考え方・対応欄では、今回お示した「調布市のこれからのみちづくりー調布市道路網計画（案）ー」の名称を、「道路網計画（案）」に省略しています。

3 道路網計画への反映

市民参加の取組結果は、それぞれ下記のように、道路網計画の目標と、道路網構築の視点を検討するための参考にしました。

(1) 第1回及び第2回みちの井戸端会議及び道路に関するアンケート

| 意見の分類 (中分類) | 道路網計画 の目標 | 道路網構築 の視点 |
|------------------------------|----------------|--------------------------------|
| 市内の拠点（駅やスーパー等）へアクセスしやすくしてほしい | 快適 安全 便利 | 鉄道駅へのアクセス性向上に資する道路網の構築 |
| バス路線を利用しやすくしてほしい | | |
| 自転車の駐輪スペースを確保してほしい | | |
| 消防車や救急車が通行できる道路にしてほしい | | 緊急時の物資や活動人員の輸送を支える道路網の構築 |
| 歩道を安全に、快適に歩けるようにしてほしい | | 救急搬送を支える道路網の構築 |
| 自転車を安全に利用できるようにしてほしい | | 地域の拠点や主要施設への安全で快適な移動を支える道路網の構築 |
| 自動車を安心して運転できるようにしてほしい | | |
| 遅れることなく目的地に到着したい | | |
| バスが時間通りに運行できるようにしてほしい | | 道路混雑の解消に資する道路網の構築 |
| 区部へアクセスしやすくしてほしい | | |
| 多摩部へアクセスしやすくしてほしい | | |
| 目的地に複数の経路で行ける | | |

| 意見の分類 (中分類) | 道路網計画 の目標 | 道路網構築 の視点 |
|------------------------------|--------------|--------------------------|
| 消防車や救急車が通行できる道路にしてほしい | 防災 減災 | 緊急時の物資や活動人員の輸送を支える道路網の構築 |
| 避難場所へのアクセスを確保してほしい | | 緊急時の避難を支える道路網の構築 |
| 火災発生時に、燃え広がらないようにしてほしい | | 火災時の延焼を防ぐ道路網の構築 |
| にぎわいのある街にしてほしい | 活性化 | 中心市街地のにぎわいの創出に寄与する道路網の構築 |
| 市内の拠点（駅やスーパー等）へアクセスしやすくしてほしい | | 観光振興に寄与する道路網の構築 |
| 遅れることなく目的地に到着したい | 環境 住環境 | 都市の低炭素化を促進する道路網の構築 |
| 自然を残してほしい | | |
| バスが時間通りに運行できるようにしてほしい | | 住みやすいまちを形成する道路網の構築 |
| 居住環境（通風や日照等）の影響も考慮してほしい | | |
| 道路整備に対する意見 | 効率性 | 効率的かつ効果的なみちづくりの推進 |

(2) 道路ユーザーヒアリング

道路ユーザーからヒアリングをした意見は、下記の項目でもれがなく検討できているか確認するための参考にしました。

| 意見内容の分類 | 検討項目 |
|----------|----------------|
| 利用者ニーズ | 道路に期待される機能 |
| 道路等の利用特性 | 道路網の構築する際の抽出条件 |
| 個別路線の問題点 | 優先整備路線の選定 |

(3) 第3回みちの井戸端会議

意見への考え方・対応欄（本冊P 2-7～P 2-9）のとおりです。